

福島原発事故の現状を知ろう！

第5回現地視察交流ツアーの募集について

東京電力福島第1原発事故から6年半が経過しました。しかし、今なお福島では避難者の数が10万人弱に上り、その内3万5千人が県外への避難を余儀なくされています。しかも、除染や中間施設問題、汚染水や低線量被曝と内部被曝問題、がれき処理、補償問題など山積しているにもかかわらず、政府は、避難指示区域のうち、最も放射線量の高い「帰還困難区域」を除いた「居住制限区域」と「避難指示解除準備区域」を解除しています。この間、私たちが現地交流を続けてきた檜葉町や飯舘村でも帰還政策で解除されました。

福島原発事故は収束するどころか、汚染水問題や困難な廃炉問題は見通しがたらず、原発や除染で働く労働者はモルモット状態で働かざるを得ないのが現状で、一部の労働組合が取り組んでいますが、もっと活動を広げていく必要があります。

この間の4回にわたる視察をふまえ、改めて日本政府による帰還・復興政策の現状を視察し、今後の私たちの活動に活かしていきたいと思えます。以上の趣旨で下記の通り、5回目目の視察ツアーを計画いたしました。積極的なご参加をおねがいします。

1. 日時 2017年11月26日(日)～27日(月)

2. 日程の概要

□11月26日(日)

6時30分 長野朝鮮初中級学校(第2グラウンド) 出発

12時30分 ・檜葉町からの避難者との交流(いわき市中央台檜葉町仮設住宅)

14時30分 記念講演と運動交流(かんぼの宿いわき)

・記念講演 福島原発告訴団の団長 武藤類子さん

・現地運動団体との交流(かんぼの宿いわき)

イ、福島原発の現状について(原水禁福島、フジワ原発労働者相談センターなど)

ロ、除染労働者の実態と闘いの現状(いわき自由労組、ふくしま連帯ユニオン)

ハ、放射能から子どもを守るネットとの交流(いわき母笑みネットワークなど)

□11月27日(月)

10時 浪江町役場からの報告と意見交流

11時～浪江町～大熊町～東電福島第1原発～6号線を南下

13時30分 日本原子力研究開発機構 檜葉町遠隔技術開発センター見学

14時30分 遠隔技術開発センター出発

20時 松本着(予定)

3. 宿泊 かんぼの宿いわき〒970-0103 福島県いわき市平藤字柴崎60

TEL0246-39-2670 Fax0246-39-3672

4. 参加費について 一人28,000円

(内訳:30人換算・対一人)

バス代 11,200円 アルピコ交通大型バス(45人乗り)

宿泊費 11,000円 かんぼの宿いわき

諸経費 5,800円(運転手経費、現地参加者経費、懇親会費、カンパ金、会場代など)

※但し、参加者が増える場合は減額となります。

5. 主催 原水爆禁止日本国民会議(原水禁)松本地区協議会

〒390-0811 松本市中央4-7-22 松本地区労組会議気付

TEL0263-33-9513 Fax0263-33-6000

福島原発事故の現状を知ろう 第5回現地視察交流ツアー参加申込書

1. お名前	2. 住所	3. 連絡先	4. 携帯番号	5. メールアドレス

申込先: TEL0263-33-9513 Fax0263-33-6000 Email ape03602@go.tvm.ne.jp まで